

「飯田ひろば」実現のための基本方針

参考資料

◇他市の状況

○事例

香川県丸亀市〔人口：10.7万人〕 旧施設（建設年 S44 年）建替え

H30.12 基本構想策定

R2.3 整備計画策定

R5.4 着工

R8.9 開館

佐賀県唐津市〔人口：11.2万人〕 旧施設（建設年 S45 年）建替え

R3.3 基本計画策定

R5.10 基本設計

R6.10 着工

秋田県横手市〔人口：8.1万人〕 現施設（建設年 S43 年）

R3.3 基本構想策定

R4.3 基本計画策定

R5.2 基本設計

R6.11 一時中断表明

兵庫県豊岡市〔人口：7.5万人〕 現施設（建設年 S46 年）

H31.3 基本構想策定

R2.1 基本計画策定

R5.3 実施設計

R6.11 大規模改修へ方針転換

○昭和 40 年～50 年に開館した 1000～1999 席のホールを持つ文化施設の当面の方向性

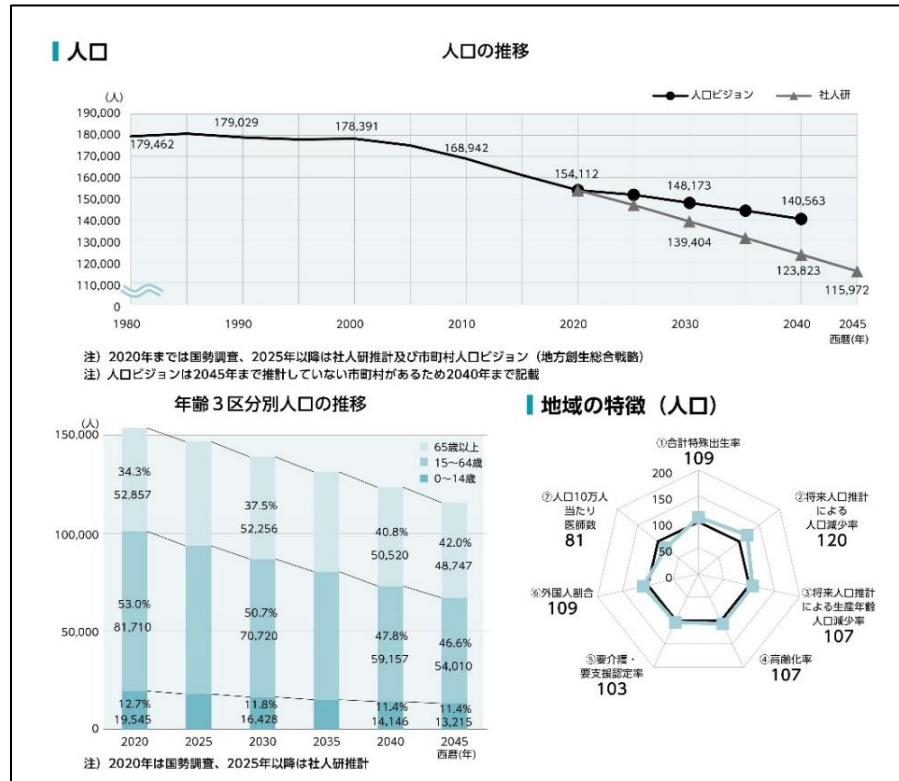
新築：19 件

廃止：1 件

維持・改修：44 件

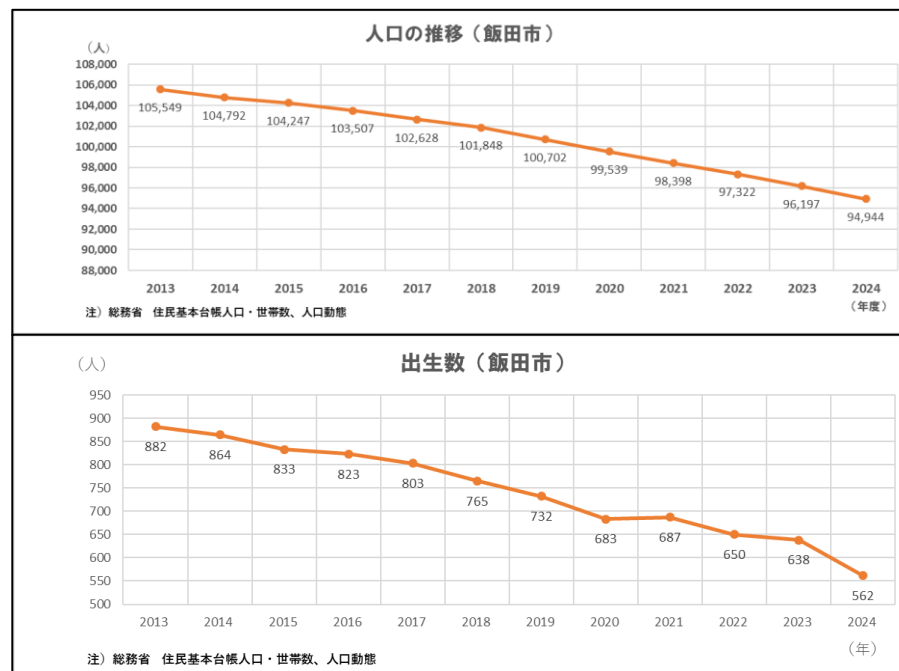
◇南信州地域の人口

南信州地域(14市町村)の人口は、合計特殊出生率では県平均を上回っているものの、人口減少率は県平均の1.2倍となっており、社人研推計では2045年には2020年の約75%(1980年比では約65%)まで減少し、特に、生産年齢人口及び年少人口は約2/3となる見込み。



出典：しあわせ信州創造プラン3.0(長野県)

南信州地域の人口減少(8.78%〈2010-2020〉)と同様に、飯田市の人口も10.05%〈2013-2024〉減少している。出生数は、36.28%〈2013-2024〉減少し、高齢化率も33.42%と高いため、今後も急激な転入者増加がない限り、人口の減少は続く。



◇飯田市の財政状況（平成25年度～令和6年度）

歳入：455億円～599億円で推移、平均500億円

財政調整目的基金残高：40億円～71億円で推移

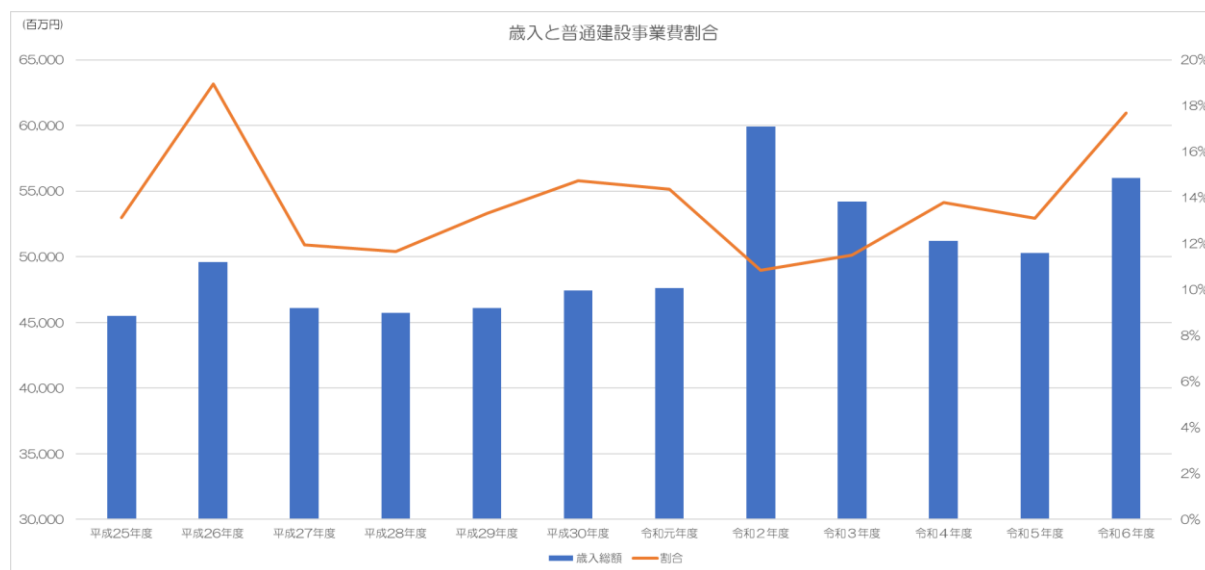
一般会計地方債残高：H26年度260億円から減少してR4年度210億円

R5年度から増加してR6年度240億円

普通建設事業費：59億円～99億円で推移、平均69億円

歳入に対する普通建設事業費割合：11.50%～19.39%で推移、平均13.76%

（H26年度は、新庁舎、公民館の耐震化、共同調理場等により普通建設事業費が多額）



普通建設事業費（百万円）											
平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
5,970	9,395	5,507	5,341	6,140	6,994	6,844	6,506	6,232	7,063	6,592	9,912

財政調整目的基金残高（百万円）											
平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
4,681	4,488	4,844	4,748	4,355	4,033	4,146	3,968	6,612	7,094	6,905	6,917

一般会計地方債残高（百万円）											
平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
24,064	25,964	24,911	23,335	22,104	21,977	21,842	21,413	21,106	20,822	20,993	24,005

歳入は、新型コロナウイルス感染症対策や物価高騰対策による国県支出金が大きくなっている。給与所得増による市税の増額が見込まれるが、人口減少の影響もあり、歳入予算規模は縮小傾向と予測される。普通建設事業費は、建設費の高騰や週休2日制等による工期の確保などにより事業費規模は、増額する傾向と予測され、リニア関連事業や学校施設等の長寿命化等の大規模事業も計画的に実施する予定であり、財政状況は厳しい。

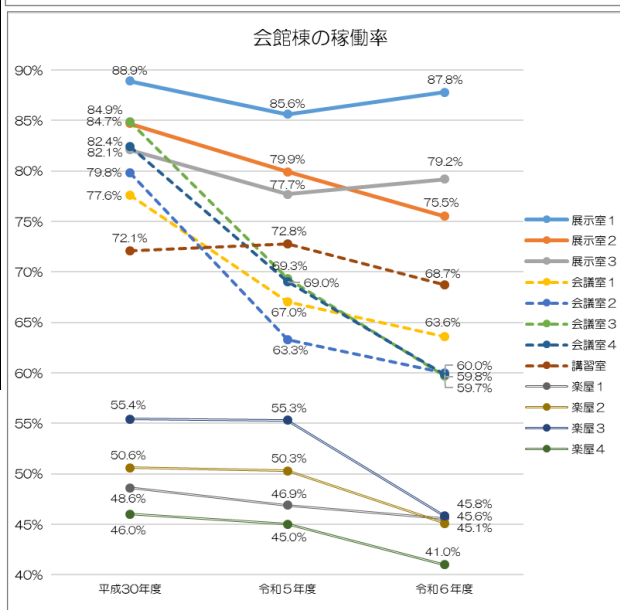
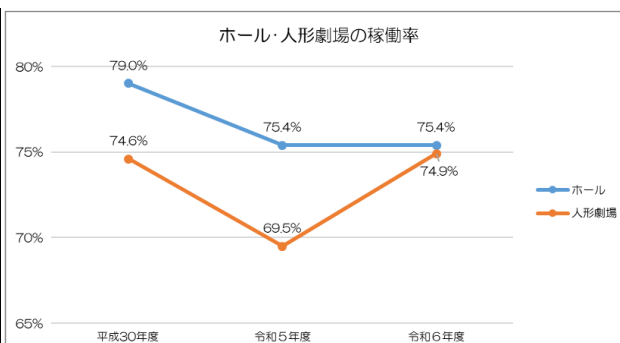
◇飯田文化会館の利用状況【コロナ禍前後の比較】

○稼働率 ※単位：日

施設		項目	平成30年度	令和5年度	令和6年度
ホール		利用可能日数	333	342	338
		利用日数	263	258	255
		稼働率	79.0	75.4	75.4
人形劇場		利用可能日数	339	344	335
		利用日数	253	239	251
		稼働率	74.6	69.5	74.9
会館棟	展示室1	利用可能日数	351	347	353
		利用日数	312	297	310
		稼働率	88.9	85.6	87.8
	展示室2	利用可能日数	352	353	351
		利用日数	298	282	265
		稼働率	84.7	79.9	75.5
	展示室3	利用可能日数	352	354	351
		利用日数	289	275	278
		稼働率	82.1	77.7	79.2
	会議室1	利用可能日数	352	358	341
		利用日数	273	240	217
		稼働率	77.6	67.0	63.6
	会議室2	利用可能日数	351	357	350
		利用日数	280	226	210
		稼働率	79.8	63.3	60.0
	会議室3	利用可能日数	352	358	350
		利用日数	299	248	209
		稼働率	84.9	69.3	59.7
	会議室4	利用可能日数	352	358	351
		利用日数	290	247	210
		稼働率	82.4	69.0	59.8
講習室	利用可能日数	348	357	339	
	利用日数	251	260	233	
	稼働率	72.1	72.8	68.7	

全国公立文化施設協会「劇場・音楽堂等の活動状況に関する調査報告書」
全てのホールの稼働状況より抜粋

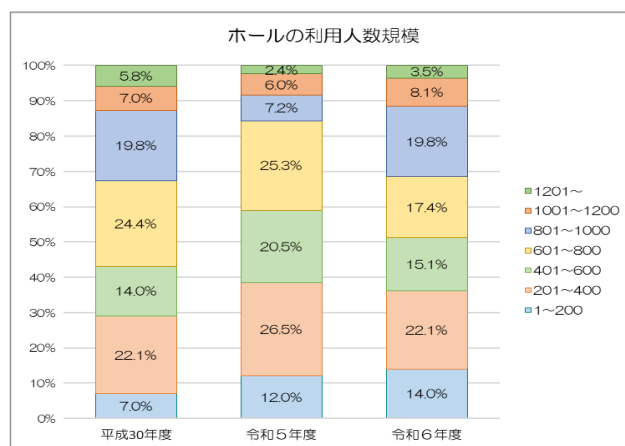
区分	平成30年度	令和5年度
人口規模別	10万人～30万人未満	62.6
	10万人未満	51.0
席数別	1000席以上	63.7
	1000席未満	55.0
	500席未満	56.6



○ホールと人形劇場のイベント時における利用人数規模 ※単位：件数

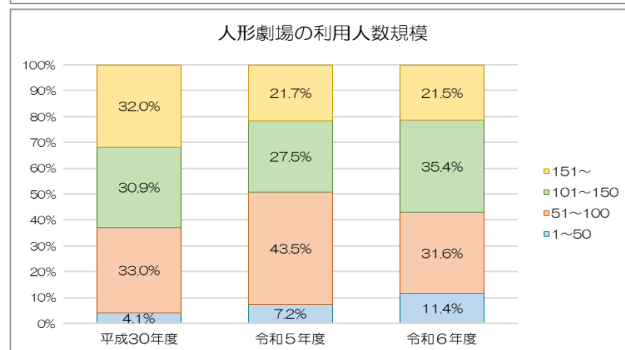
ホール

規模	平成30年度	令和5年度	令和6年度
1～200	6	10	12
201～400	19	22	19
401～600	12	17	13
601～800	21	21	15
801～1000	17	6	17
1001～1200	6	5	7
1201～	5	2	3
合計	86	83	86



人形劇場

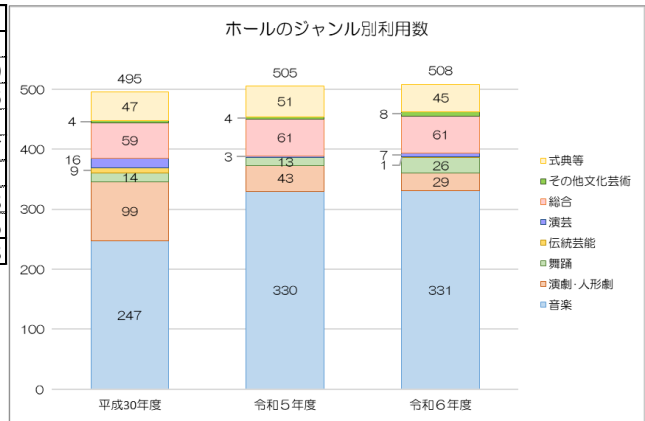
規模	平成30年度	令和5年度	令和6年度
1～50	4	5	9
51～100	32	30	25
101～150	30	19	28
151～	31	15	17
合計	97	69	79



○ホールと人形劇場のジャンル別利用数 ※単位：枠

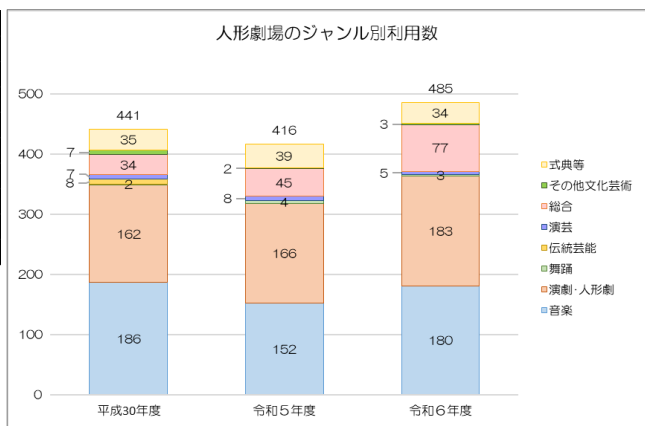
ホール

ジャンル	平成30年度	令和5年度	令和6年度
音楽	247	330	331
演劇・人形劇	99	43	29
舞踊	14	13	26
伝統芸能	9	0	1
演芸	16	3	7
総合	59	61	61
その他文化芸術	4	4	8
式典等	47	51	45
合計	495	505	508



人形劇場

ジャンル	平成30年度	令和5年度	令和6年度
音楽	186	152	180
演劇・人形劇	162	166	183
舞踊	2	4	3
伝統芸能	8	0	0
演芸	7	8	5
総合	34	45	77
その他文化芸術	7	2	3
式典等	35	39	34
合計	441	416	485



○会館棟の主な利用状況【令和6年度】 ※単位：枠

内容	1階			2階				
	展示室1	展示室2	展示室3	会議室1	会議室2	会議室3	会議室4	講習室
催事控室	131	141	143	105	109	109	108	87
会議	175	139	133	90	103	86	101	41
練習	171	137	158	96	76	92	90	240
発表・イベント	41	46	41	53	53	53	53	6
物販・展示	71	45	53	32	55	48	28	4
その他	48	9	15	0	0	0	0	32

※練習の内訳

内訳	1階			2階				
	展示室1	展示室2	展示室3	会議室1	会議室2	会議室3	会議室4	講習室
音楽	111	95	96	66	37	42	43	230
演劇・人形劇	50	24	38	21	30	48	45	8
舞踊	1	1	0	0	0	0	0	0
総合	7	12	19	7	7	2	2	2
その他文化芸術	2	5	5	2	2	0	0	0

◇文化会館と公民館の利用状況

